

2023年12月 学校理事会

各部報告に対する質問事項

皆様、質問案です。

111 全日

a) シャドーイングとは何か？

昨年度から設定している体験入学の一種です。1日のみ、無料、同学級の在籍児童生徒の一人について回るということから、そういうネーミングで呼んでいます。すでに12月に2件、2月に1件の申し込みがあります。(井手)

b) もちつきの日程はなぜ12月13日なのか？通常、鏡餅の準備のために12月下旬が餅つきの日程だと思うが？

例年、2学期終業式の前日に行っておりましたが、慌ただしさを解消するため1週間前に実施することとしました。(井手)

c) 第二回学校説明会(1/23)：現状、何人の派遣教師が帰国し、何人の派遣が予定されているのか。複式は、派遣教員数が何人の時に行うのか？

帰国予定の教員は4名、新派遣の教員数はまだ分かりません。複式は、常勤教員が2人以上減れば実施します。(井手)

d) 第一回学校説明会(12/12)の時に、なぜ案内文書を領事館メールで出さないのか？1月末に出しても、1月23日の学校説明会には参加できないのでは？

初めて領事館メールの使用を考えましたので、領事館の使用許可願が遅れました。今後活用させていただきます。(井手)

e) 常任英語教師がいなくなり、パートタイム英語教師となったが、以前と今を比較して、良い点、悪い点、改善された点、改悪された点等を教えてください。また、今後はどうしたらよいと思いますか？

良い点：給与が安く抑えられる。ネイティブ英語の授業のみに専念していただくことができ、時間の無駄がない。校務分掌の割り振りがないため、お互いに無用な気遣いが無い。

悪い点：ネイティブ英語の時間の子どもの様子が職員に伝わりにくい。時間割の変更に対応が難しい。授業以外の校務を割り振ることができないので、その分、常勤教員

への負担が大きい。職員間のコミュニケーションをとる機会が少なく、学校からの連絡も抜けることがあり得る。

改善された点：良い点と同様である。 改悪された点：改悪とは考えていない。敢えて言えば、悪い点と同様である。

- f) 英語科、外国語：ニーズに合った良い取組だと思えますが、日本でも英語は小学1年生から授業がありますが、なぜ通知表への評価がないのですか？また、外国語となると、英語以外の他言語でも良いと思えますが、たとえばチャモロ語等は考えられるのでしょうか？

日本では、2020から小3、4年生で外国語活動が、小5、6年生で外国語が教科として指導され、評価までを実施しています。小3、4では、英語に慣れ親しむという目標があり、評価はされません。これらを受けて、学校独自の取り組みとして小学校1年生から年間10時間程度の英語学習をするところもあるようです。

外国語ですから英語でなくてはならないということはありません。世界で英語が最も広く使われており、子どもの将来に役立つ可能性が高いこと、日本の受験システムが英語を中心になり立っていることから、日本では、外国語として英語を教えているところがほとんどだと思います。日本人学校は、日本へ帰国する子どもの進学をもとに教育課程が組まれますので、本校でも外国語として英語を取り扱っています。

222 補習校

- a) 在籍数前年比で問題は日本語会話（12→3→5、昨年比△7）だが、渡部先生指摘の通り、5-15歳を同じクラスで教えるのは無理があると思うが、現状、日本語会話教師は何人いるのか？5人しか生徒はいないが、2クラス編成は出来ないのか？国語では漢字検定、日本語検定を習熟の目安、そして学習の目標として行っているが、日本語会話では、生徒のやる気を出すためにどのような取り組みをしているのか？

A：おっしゃる通り、幼児から高学年までを同じ教室で同じ内容で教えるのは、日本語会話力の程度の違い以上に、年齢(発達段階)が違いすぎることからくる課題が大きいです。

補習校としては、新年度は、ぜひ2クラス編成にしたいと考えています。そうしませんと、他の要因も大きかったですが、昨年度中に大勢の生徒が受講を辞めた事の二の舞になってしまいます。これを避けるためにも、現在の状況では、最低限2クラスに分割することが指導上も必要と考えます。

ただし、来年度の受講者の学齢が大きく影響します。2月までには、現在日本語会話受講中の保護者の意向をうかがいたいと考えています。そのうえで、指導者としての適任者を理事会で採用していただきたいと考えています。

現在の取り組みとしては、年間を通じて、「話す」「聞く」「書く」に重点を置いて指導をしています。

「話す聞く」については、

- ・毎月テーマを決め、そのテーマに沿った文法や、アクティビティを考えて取り組んでいます。（例：11月のテーマは、「にほん」。日本の食、文化を学んだり、好きな食べ物を紹介（「わたしの好きな〇〇は、～です。」）し合ったりしました。
- ・日本の秋にちなんだ工作や折り紙を行い、「三角、四角」などの形の名称、「黄色」などの色の名称の学習をしました。）フラッシュカード等を用いて、語彙を増やす取り組みも行っています。
- ・歌やダンス、手話も毎時間取り入れています。ただ、幼稚部のお子さんの好きな曲と、高学年のお子さんの好きな曲では大きく違いがあり、難しさを感じています。

「書く」については、

- ・入学したてのお子さんには、ひらがな練習から始めています。
- ・ひらがながある程度習熟できているお子さんには、ひらがなとカタカナを用いて言葉を作ったり、かんたんな文章を作ったりしています。
- ・「書く」活動の最中は、活動グループが二つに分かれますので、一方を指導している間は、他方に「ひらがな」に関するビデオ教材を見せるなどしています。

年度当初は、日本語会話に関するテキストを用いて授業をしようと考えていましたが、子どもの発達段階や、興味に合うテキストが見つからず（日本語会話のテキストは、主に高校生向け、または、「日本に住む」外国人向けである）、現状としては、指導計画を在籍するお子さんに合わせて考えて取り組んでいるところです。（小形）

b) 4. 来年度の授業計画の記載、骨子、年中児、授業機会拡大、日本語会話、と羅列されているが、要すれば何がしたいのか、よくわからないので、要点をまとめて説明頂きたい。

A：アンケートでも算数数学を受けさせたいという希望が多くありました。平日の送迎が困難である点が、この希望に応えられない大きな障壁の一つと感じています。算数数学の授業を土曜日にも受講できるよう（授業機会の拡大）にすることが良いと考えています。日本語会話については、上記 a) の通りです。年中児については、以下の c) の通りです。（小形）

c) 年中児に関しては、以前の主任からの報告で、来年度は、再度プリは一学年一クラスに戻す方が良いとの提案があったが、方向性はどちらか（年中年長か年長のみ）。

A：プリは年長のみの一クラスに戻す方が良いです。年中児の扱いについては、今年度初めての試みでありましたが、本来の目的である学校教育へ入る前段階の準備という本来の位置づけ（年長のみ）がよいです。年中を受け入れるのであれば、2クラス編成にするか、もしくは、年長と合同クラスならば、必ず補助を付けていただきます。

幼児クラスは、社会性を身に付けさせるためには複数人が必要です。しかし、ひとりの指導者が面倒を見る子どもが多すぎるとは、指導がしきれない懸念があります。（小形）

d) 日本語会話は、会場が学校との記載あるが、それ以外の会場はあるのか？

A：ありません。学校で指導です。そうでなければ、学校へ通わず指導を受けることになり、学校の一員としての帰属感がますます薄れ、語学塾と何ら変わらない状態になってしまいます。（小形）

e) 日本語会話、2クラスにする場合は、何を基準に分けるのか（年齢、習熟度？習熟度の場合は、そのものさしは何を使うのか）？

A：年齢です。

教育の質を保ち、なおかつ向上させるには、早期に次年度の体制を固めるのがよいと考えています。授業日や授業教科が確定し、多くの児童生徒が登校するようになればと願っています。

補習授業校の教員の確保は、どこの補習授業校でも頭痛の種となっていることは理事の皆さんもご承知の通りです。昨年度末は、教員の確保がぎりぎりの段階でできたと聞いております。人選や人材の確保は余裕をもって行き、万全の体制で新年度に臨むべきと思います。

来年度は、理事会に教員確保について慌てさせるなどの負担をかけないように、補習校としてもできる協力は惜しみなくしていきたいと考えています。この意味からも、授業日・開設授業

の確定をまず行いたいと考えています。これは、補習授業校が責任を持つべき事項であり、専権事項ともいえると考えます。

何度も申し上げていることですが、補習授業校の校長としては、「子どもたちに学習の機会を広く提供し、学力を高めること」「教員が教育活動に専念し、授業力を高める環境を整えること」の二点に注力していることをご理解ください。(小形)

333 幼稚部

a) 来年度、一クラス移行に関して、どのような準備をすすめているのか？

今月から園長を教育部長が兼ねる事とし、来年唯一のフルタイム教員である愛先生には、新体制に向けての準備に注力してもらい体制を整えました。また、教員のキャパシティを考えると、来年度は拡大戦略でなく、限られたリソースを最大限利用し教育内容充実に注力した経営を行っていくプランを立てております。別紙の Strategic Plan をご参照ください。(時任園長)

444 事務局

a) 安全点検の表：見方がわからない。チェックがついているのは、問題なのか、改善されているのか？そもそもの表の作りが悪いと思うが。改善願いたい。どちらかというとな問題が指摘された日付を記載し、その後改善されたらば、改善日を記載して、案件を閉じる等がよいのでは。また、雨漏りという大きなくくりがあるが、どこからの雨漏りなのか、場所ごとで分けるべき。

ご意見ありがとうございます。見やすい表に作り替えたいと思います。(時任)

b) FED からの寄付と、保護者からの寄付の管理はどのように行っているのか。特に FED からの寄付(会議室の PC)は年月も経ち、故障などもあると思うが、どのように管理されているのか。

確認します。(渡辺)

c) FED 寄付の Ipad に関して、その後どのような対応がされているのか、それとも、問題解決せず、野ざらしか？

現状は着手できていません。今般、Google Workspace for Education のアカウント登録が完了しました。これにより無料で学校専用の Google Workspace が利用できるようになります。生徒全員に専用アドレスを付与でき、Google Classroom を利用できるようになります。現在、来年度4月から全校で使用できるよう準備を進めています。（全日で先行試行利用を予定）これにあわせて Ipad の活用を準備していきます。（渡辺）

d) FED 寄付、23年度のプレイグラウンドは決定したが、来年度24年は、何を申請していく予定か？プレイグラウンドの改築はいつまでに、いくらかけて行うのか？その際の気を付けるべき点は（いつまでにいくら使わないといけない等）

ご指摘通り、やるべきタスクが沢山あります。ボランティア故、タスクが追い付いておりませんが、来月には進捗状況をご報告できるようにいたします。（時任）

e) チュータープログラム：現在先生は何人雇用しており、何人が利用し、今年度の追加利用顧客の見通しは？今年度の収支見通しは？

現在2名の園児が受講中。今期中はこの2名のみの予定です。

講師は稲垣先生の勤務時間内にさせていただいておりますので、この部門に関する追加コストは現在のところかかっておりません。今後、稲垣先生がこのチューターの為だけにご出勤すると、その分の時給がコストとなります。（時任）

f) 12/6 幼稚部の説明会、その反応、問題点等、開示願いたい。

説明会后、その反応と問題点の洗い出し及び検証は行っておりません。主観的な感想ですが保護者様にはご納得いただけたとは思っております。（時任園長）

555 会計

a) 11月までで8か月の月次決算が終了、66%進捗が目安だが、収支は85%と改善、他方支出は予算比51%（教育関連）、54%（一般管理）とこちらも大幅12-15%の改善を見ているが、来年までに想定されている大型支出はあるか？

老朽化した事務局 PC、職員室の椅子などの購入が必要だと考えています。収支は改善しているように見えますが、今月報告のとおり、18,000ドル近い登録料の計上漏れが発覚しました。今後も更なる計上漏れがないとは言えません。また、12月以降は、例年の傾向を見ると授業料

収入がなく、毎月大幅な赤字収支を予想しています。来年5月に予定の会計監査→決算までは油断ができないと考えています。（渡辺）

b) 一般管理費の改善は、人件費の改善（事務長、常勤英語教師の退任）が大きいと思うが、これらによる授業の質、事務局の質は如何？改悪、改善？それとも変わらず。変わったのであれば、何が変わったのか？

理事がボランティアで日々学校の管理業務を行なう事には限界があります。正確な会計処理、非効率な業務など課題は複数見られるが、大きな改善まで手が回っていないのが実情です。一方でゼロベースで見直すべき点を洗い出しているというメリットもあります。（渡辺）

666 小委員会

a) 複式、補習校、人事：進捗はありますか？

人事：12月12日に伊藤理事、時任理事でMTGを行います。来月の理事会で進捗状況をご報告いたします。（時任）